

意見書（第3回世田谷区基本計画審議会）

令和4年11月17日
第3回基本計画審議会

第3回基本計画審議会にご欠席の委員で、事前にご意見等をご提出いただける方は、以下にご意見等をご記入いただき、11月15日（火）17時までに事務局までご提出ください。（ご提出は任意です。）
いただいたご意見は、第3回基本計画審議会に報告し、資料として公表させていただきます。

【ご意見等】

世田谷区として重点的に取り組む議題として以下に案を記載させていただきます。

1. 今後の区民とコミュニケーションを図る上での共通プラットフォームの検討

（地域コミュニティの面）

・共通プラットフォームの検討をすべきと考えます。また、それと同軸で発信の仕方の工夫も必要ではないでしょうか。

→どのように認知訴求すべきか、どのような伝え方が効果的なのか、DX化してコミュニケーションを図るものを作るだけで終わるのではなく、その先の発信方法も検討が必要なのではないでしょうか。CM、SNS、DM発信という媒体選びだけでなく、その中身のコンテンツの工夫が必要と思います。（何を理解してもらうためにどのような伝え方をすべきか）

上記は区民検討会議の際にも少し話にでておりましたので明記いたしました。

2. ミレニアル世代、Z世代が成人後働く上での支援

（子ども・若者支援と教育の充実の面、持続可能な循環型社会の面）

・現状背景として2025年までに世界の生産年齢人口の過半数をミレニアル世代が占めると予測されており、これまでの資本主義のビジネスからソーシャルビジネスやサステナブルビジネスが主流となる持続可能な社会への変革が求められております。その上で、世田谷区は日本の指針となる区を目指し、日本の活性化を目指すうえでのテンプレートと考えるのであれば、提示した世代に向けたビジネスマッチング支援やスタートアップ企業経営に向けた支援に力を入れて今後の日本の活性化を視野に入れた施策にも重点を置いてもいいのではと考えます。

現状において施策化されているものもあることは理解の上で拡充を考えてもいいのではという案でございます。

上記二案恐縮でございますが、今回の議題に合わせて考えさせていただきました。

よろしく願いいたします。

【お名前】尾中俊之